



## 使用上の注意

### テーブルトップの保守

#### 木材表面のクリーニング

ほこりが堆積しないように、定期的なすべての木材表面のほこりを払ってください。この作業は、水を少し湿らせた、柔らかく糸くずの出ない布を使用して行います。木目に沿って軽く拭き、すぐに別の布で乾かします。ほこりが研磨剤となって、細かい傷の原因になる可能性があるため、軽く拭くことを心掛けてください。

より徹底的なクリーニングが必要な場合は、1 クォートのぬるま湯に対して小さじ 1 杯分 (5 ml/l) の低刺激性の液体洗剤を使用してください。木目に沿って柔らかく糸くずの出ない布で拭きます。洗淨水を湿らせた布でもう一度拭いてから、3 枚目の布で乾拭きします。洗淨水の代わりに、良質なガラスクリーナーを使用することができます。

ワックスや磨き粉の類、特に、シリコンが含まれたものは使用しないでください。

#### 木材表面の保護

必ず、オフィス機器の下には、フェルト裏地のデスクパッドやコースターだけでなく、フェルトパッドを敷いてください。木材表面の特定の箇所に、長期間、プラスチック素材のものを放置しないでください。

液体をこぼした場合は、できるだけすばやく、拭かず吸い取って、上述の清掃手順を実行してください。

木材表面を過剰な温度や湿度にさらさないでください。暖房機、通風孔、または開いた窓の傍には置かないようにします。天然木製品は、長期間光にさらされると、変色する可能性があります。木材表面を直射日光にさらさないようにし、場合によっては、上に載せたものをこまめに移動することによって、木材の部分的劣化を防止します。

### プラズマディスプレイのクリーニング

プラズマディスプレイのクリーニングに関して業界で推奨されているベストプラクティスは、次のとおりです。

プラズマディスプレイのクリーニングには、特別な配慮が必要です。パネルの表面は、きれいな布または柔らかく糸くずの出ない布で軽く拭きます。表面が特に汚れている場合は、柔らかく糸くずの出ない布を 2 種類用意し、一方の布を清浄な水（または少量の中性洗剤を加えた水）に浸してから拭き取り、さらにもう一方の乾いた布で表面が乾くまで均等に拭き取ります。

## カメラ レンズのクリーニング

**注意**

取り付けが完了するまでは、カメラに触らないでください。カメラ レンズのクリーニングには、乾いたマイクロファイバー布を使用します。クリーニング後は、カメラの位置を再調整してください。

## プロジェクタの保守

**(注)**

プロジェクタ レンズのクリーニングなどの保守作業については、プロジェクタに同梱されている『Projector User Guide』を参照してください。プロジェクタ ランプの交換方法は、「[プロジェクタ ランプの交換 \(部品番号 : CTS-PRJTR-BL-GEN1=\)](#)」(P.12-17) を参照してください。プロジェクタの交換方法は、「[プロジェクタの交換 \(部品番号 : CTS-PRJTR-GEN1=\)](#)」(P.12-18) を参照してください。

**警告**

この装置の設置、交換、またはサービスは、訓練を受けた認定サービス技術者だけが行ってください。

**警告**

この装置の設置は、地域および国の電気工事規定に準拠して行う必要があります。